Ⅱ. 本年度の学校経営

1. 学校経営の全体構想

地域の実態 ― 児童の実態 ― 国・府・市の動向、教育理念や方針

学校教育目標
知・徳・体に調和のとれた子どもの育成

魅力ある教師
1. 一人ひとりの子どもを見つめ、基礎・基本を大切にし、個性の伸長を図る教師
2. 絶えず研修に努め、創意ある授業の工夫と指導法の向上を図る教師
3. コンプライアンスを遵守する教師

めざす子ども像
1. 考える子ども
2. 思いやりのある子ども
3. たくましい子ども

願う学校
1. 安全かつ健康で、生き生きと学習や活動をし、一人ひとりの居場所を感じる学校
2. 美しい学校（施設・設備、環境、教職員の心）
3. 家庭・地域社会との連携を深め、安心・安全で開かれた学校（施設・教育活動・教職員の心）

学校教育目標達成のための4つの重点

適正な学校運営・教育課程

1. 適正な学校運営体制
・職員会議、企画運営会議、学年会の適正な運営。
・校務分掌の主担者の明示と適正な運営。
・教職員の健康、福祉の観点からの業務改善。
・学校運営協議会による地域と共にある学校づくり。

2. 教育課程の編成
・学習指導要領に基づく教育課程の編成。
・授業時数の適正な管理。

3. コロナ禍後の教育課程
・教育課程及び学校行事等の見直しと再編成。

特色ある教育・学校

1. 校内研修（研究授業）
・子どもたちが「わかる・できる」授業の創造。
・「心と体の教育」の研究と推進。

2. 人権教育
3. 支援教育
4. 生徒指導
（充実と連携）
・学習指導と生徒指導の一体化。
・生徒指導上の諸問題への組織的な対応。
・未然防止、早期発見と早期対応。
・家庭との連携。

5. ICT を活用した学習活動
・学びの保障と個別最適化された学習の推進。

6. 学力向上・体力向上

7. 道徳教育
・教育活動全体を通しての道徳教育。

8. 幼小、小小、小中連携
・幼保こ小連携（架け橋プログラム）の研究と推進。

9. 少人数指導と専科教科指導
・少人数指導による算数科、専科教員による理科、音楽の授業。

10. 図書館教育

11. 安全教育
・災害、事故、事件に対応した、危機管理マニュアルの改善と徹底。

12. 健康教育
・食育の推進と給食における食物アレルギー対応の徹底。

13. 特別活動

開かれた学校

1. コミュニティスクールの充実
・校区住民、保護者等による学校運営協議会の適切な運用。

2. 150周年事業の継続と進化。
・ローガン市との交流事業。
・地域学習（ふるさと学）。

3. 教育情報の公開、発信
・枚小ブログ、ミルメールの積極的活用。

4. 安心安全な学校づくり
・校区コミュニティ安心安全部会、見守り隊、校区青少年を守る会との連携。

5. 社会人・地域の人材活用

6. PTA や地域との連携

7. 学校教育自己診断

教職員の指導力向上

1. 教職員研修
・組織的・計画的な研修の実施。
・「学び続ける教職員」の育成。
・初任者研修、10年経験者研修の適切な実施。
・キャリアステージに応じた研修の実施。

2. 服務規律の徹底
・不祥事防止の徹底。
・組織的、計画的な研修の実施。

3. 業務改善
・教職員の健康および 福祉の確保。
・業務の在り方の適正化。

教育課程実施における自立的かつ継続的な評価と改善

①すべての教職員が学校運営の主体者として教育目標の具現化に向け、各校務分掌の具体的な目標の設定に基づき職務にあたる。
②職務遂行の過程と結果について常に振り返りを行い、その進捗状況や達成度の把握に努める。評価は常に改善につなげていく。
③全国学力・学習状況調査やすくすくウオッチ、体力テストの結果、学校教育自己診断、生徒指導及び問題行動の集計、いじめアンケートと聞き取り、保護者や地域からの意見、等々をもとに教育活動の評価を行う。
④学校運営協議会による学校関係者評価についても、適切に活用して学校運営の指標とする。